

## 2016年度第3回アジア政経学会理事会 議事録

日時：2016年12月17日（土） 15:00～17:00

場所：東京大学本郷キャンパス赤門総合研究棟5階549室

出席者：阿古、磯崎、川中、倉田、澤田、清水、園田、高橋、竹中、中岡、永井、丸川、  
三重野、渡邊（以上理事）、大橋監事

欠席者：青山、大西、梶谷、加茂、川島、巖、佐藤、田村、中溝、松田（以上理事）、  
山本監事

議長：丸川理事長

15時00分に丸川理事長が議長席に着き、開会を宣言、倉田理事から、本日の理事欠席者が10名、監事欠席者1名にて、定足数を満たしているため、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。その後、議案の審議に入った。

### 議題

#### 審議事項

##### 1. 評議員選定委員の選任

丸川理事長より、配布資料1に基づき、本学会定款上の評議員選定委員の選任方法につき説明され、5名の候補者が提示された。審議の結果、以下5名のいずれの候補者も評議員選定委員にふさわしいとして、満場異議なく承認された。

天児 慧 早稲田大学 評議員

家近亮子 敬愛大学 評議員

大橋英夫 専修大学 監事

十川美香 一般財団法人日中経済協会理事

吉岡桂子 朝日新聞編集委員

##### 2. 会員投票実施要領の決定

丸川理事長より、配布資料2に基づき、会員投票実施要領案が提示された。審議の結果、原案が満場異議なく承認された。

##### 3. 会員投票実施スケジュールおよび選出人・被選出人リストの確認

丸川理事長より、資料3に基づき、2017年度会員投票のスケジュール案が提示された。原案が満場異議なく承認された。

また、丸川理事長より、2017年度会員投票の選出人、被選出人のリストがモニターにて提示され、適否が審議に付された。審議の結果、会費未納分のある会員には選挙権を与えないことが確認された。

#### 4. 文書管理規則の制定

丸川理事長より、配布資料4に基づき、文書管理規則案が示された。審議の結果、下記の修正を加えた案が決議承認された。

①第2条(7) 経費支払いの証憑、会費等の振込通知

→「経費支払いの証憑」を削除し、「会費等の振込通知」のみとする。

②第3条 第2条の(7)はその証憑に関わる決算の1年後の決算が承認されるまで保存する。

→「第2条の(7)は5年間保存する」に変更。

③第3条 第2条の(15)は当該の任期の期間中は保存する。

→「当該の任期の期間中は」を「当該の任期の次の任期が終了するまで」に修正。

#### 5. 退会時の未納会費の請求について

丸川理事長より、配布資料5に基づき、退会時の未納会費請求につき、学会ホームページ上での未納会費支払い義務の明示および、退会者への対応ルーティン案が示され、審議に付された。審議の結果、学会ホームページ上での未納会費支払い義務の明示については原案どおり承認された。退会者への対応ルーティン案については、原案①は承認、原案②は削除、③については未納会員の督促と同じタイミングで、退会後の未納者への督促をお茶の水学術事業会に依頼することとし、決議承認された。

#### 6. 2017年度の国際シンポジウムについて

2017年度の国際シンポジウムにつき、丸川理事長より、配布資料13に基づき、奥田大会実行委員長の企画案が代読報告された。続いて園田理事より、配布資料6に基づき、企もう1つの企画案が提示された。審議の結果、2案ともに原案どおり進めることを承認した上で、「榎山セミナー」としての扱いについては、榎山奨学財団との協議を理事長に一任することが決議承認された。

#### 7. 入会・再入会・休会・退会・会費優待者の承認

阿古理事より、追加配布資料ならびに回覧資料に基づき、下記のとおり入会10名、再入会者1名、休会者1名、会費優待申請2名の申請につき報告され、満場異議なく承認された。また、退会者6名につき報告された。

#### 8. 次回理事会の日程調整(倉田)

倉田理事より、次回理事会の日程につき在席の理事に照会された。総務よりメールにて本日の欠席理事と相談後、改めて調整・決定・通知することが決定された。

## 9. 費消額見つもり、財務報告書作成について

渡邊理事より、配布資料 8 に基づき、余剰資産の使い切りに関する規定につき説明された。つづいて資料 9 に基づき、今後の学会の財務諸表作成を会計事務所に依頼することが提案された。審議の結果、来年度予算に当該費用を盛り込むことが決議承認された。

## 10. 『アジア研究』編集委員会報告

三重野理事より、資料 10 に基づき、62 巻 4 号が無事刊行されたこと、ならびに 63 巻 1 号および 2 号の編集進捗状況について報告された。特集を回すことで刊行ペースは軌道に乗ったが、今後は特集にすべきか否かの判定基準や、クオリティコントロールが問題であると指摘され、これは次期編集委員会への申し送り事項とすることが報告された。

また、編集作業補佐員の雇用の可否につき理事会に照会され、満場異議なく承認された。

## 11. ニューズレター第 47 号について

澤田理事より、配布資料 12 に基づき、ニューズレター第 46 号の発行が報告された。続いて、第 47 号の構成案につき審議に付された。審議の結果、巻頭言には梶谷理事および澤田理事が加藤弘之元理事長の追号文を寄せること、韓国の AECF 会議については竹中理事が参加記を執筆することが決議承認された。

## 12. その他

なし。

## 報告事項

### 1. 秋季大会開催報告

清水理事（大会副実行委員長）より、配布資料 7 および追加資料（『世界経済評論』誌コピー）に基づき、秋季大会が無事に実施された旨報告された。併せて、共通論題については学会誌への投稿が検討中である旨報告された。

### 2. 香港教育大学との備忘録締結について

倉田理事より、配布資料 11 に基づき、香港教育大学との学術交流に関する備忘録が無事締結されたことが報告された。今後、倉田理事を通じて協力要請があった場合、適宜理事会に諮ることが確認された。

### 3. 名簿準備状況について

阿古理事より、今年度の名簿作成の作業状況につき報告された。

#### 4. その他

なし。

丸川議長が 17 時 00 分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上。